

自分が成長できる大きなチャンスです！

2019ミススピーチ  
キャンペーンクルー  
柴田 裕唯さん



■応募の動機  
幼い頃からミススピーチに憧れていましたが、自分には務まらないだろうと応募をためらっていました。しかし、父の入院をきっかけに、少しでも父を応援する力になりたいと思い応募を決めました。

■活動してみたの感想  
生まれ育った福島の果物や特産品、福島の良さを知ってもらえることがとてもうれしく、皆さんに支えてもらっていることを実感しました。また、人前での立ち居振る舞いにも自信が持てるようになりました。

■応募を考えている人へのメッセージ  
応募するのは恥ずかしい…。自分にはできないだろう…。と思っている方も多いと思いますが、これは大きなチャンスです！人として、とても成長できると思いますし、果物が好きな方は、たくさん食べられるのでオススメです！ぜひ応募してみてください。

福島の魅力を伝えたい気持ちは今も変わりません



2016ミススピーチキャンペーンクルー  
小林 愛さん(タレント)

■応募の動機  
震災後、福島のおいしい食べ物が風評により各地で敬遠されていることを知りました。自分に何かできることはないかと調べた時に募集の記事を発見しました。ぜひ福島の豊かな自然から生まれる果物の魅力を多くの方々に伝えたいと思い応募しました。

■活動しての感想・今に活かしていること  
活動を通して、生産者と消費者の方々両方の声を聞くことができました。全国各地でさまざまな方々に直接お会いして、PRできるのは最大の魅力だと思います。福島の現状をしっかり学び、自分の言葉で相手に伝える喜びは計り知れません。現在も福島の魅力を多くの方々に伝えたい気持ちは変わりません。

■応募を考えている人へのメッセージ  
やろうかなと少しでも悩んだ時は、ぜひ一歩踏み出してほしいです。私は活動を通して、福島を見つめ直す時間が増え、故郷を愛する気持ちがより一層強くなりました。ミススピーチキャンペーンクルーならではの素晴らしい経験が待っています。ぜひ応募してみてください。



キャンペーンクルーの活動紹介  
(キャンペーンクルーの誕生から活動まで)

4月 選考会

模擬PR、スピーチなどの実技による選考を行い、たくさんの応募者の中から、今年の福島産果物PRの顔となるグループを決定します。



5月 研修

新クルーとしてデビューするための準備期間。講義や園地見学を通して、果物や観光に関する知識を深めるほか、クルーとしての心構えや立ち居振る舞い、スピーチなどを学びます。



6月 活動スタート！ 関係機関訪問



研修を終えると、関係機関へのあいさつ。サクランボから始まる果物シーズンの幕開けと共に活動がスタートします。

7月 地元市場での出発式 福島駅でPR

いよいよモモのPRが始まります！  
出発式、そしてJR福島駅でのPRを経て、全国各地や海外での活動が本格的になってきます。



笑顔で福島のいいものを届けます!!

特集

2020  
ミススピーチ  
キャンペーン  
グループ募集

福島の“くだもの”と元気を  
あなたの力で全国へPRしませんか？

「くだもの王国ふくしま」を全国に発信するミススピーチキャンペーンクルーを募集します。クルーに選ばれた方は、福島の果物の品質の高さと安全・安心、生産者の愛情を全国の市場や量販店、各種イベントなどでPRしていただきます！

■問／福島県くだもの消費拡大委員会  
(農業振興課内) ☎529-7663  
FAX 533-2725

- 応募資格／①～③の全てに当てはまる方
- ①18歳以上で心身ともに健康な方(ただし、高校生は除く)
- ②県内に居住、または在勤・在学していて、福島市などでの活動が可能な方
- ③年間20日以上果物のPR活動ができる方(特に7～8月はPR活動が集中するため、他の要件よりも優先して活動に専念できる方)
- 募集人数／10人以内
- 応募方法／2月15日(土)～4月20日(月)正午まで(必着)
- ①所定の応募用紙に必要事項を記入の上、農業振興課まで持参または郵送、ファクスで
- ②福島県くだもの消費拡大委員会のホームページで
- 応募用紙／農業振興課、各支所・出張所、各学習センター、市内の大学・短大、スーパーマーケットなどに配置(希望者には郵送可)
- ※詳しくは、福島県くだもの消費拡大委員会ホームページをご覧ください。
- 選考会／4月25日(土)こむこむ
- ※詳しくは、応募者に通知する資料をご覧ください。
- 賞／賞状、トロフィー、旅行券(10万円相当)、記念品など



2019ミススピーチキャンペーンクルー：(右上段から)加藤さわさん、米山未羽さん、五十嵐まゆみさん、渡辺奈央さん、山田奈菜さん  
(左上段から)望月こころさん、遠藤優佳さん、柴田裕唯さん、関根優花さん、菊地由貴さん